資料５

2020オープンデータシティ推進委員会

実証テーマ案及び評価指標案

表　実証テーマ案

| **分野** | **タイトル** | **概要** |
| --- | --- | --- |
| 観光 | ・海外への地域の魅力発信と観光地でのおもてなし情報提供による海外観光客誘致 | ・現在、様々な主体が発信している、外国人から見た日本の魅力（例：季節ごとの景観、多用な地形、無形文化財、温泉、美味しい日本酒や郷土料理など）に関する情報をオープンデータ化し、目的に応じて自由に組合せて活用できる仕組みづくり。 |
| ・イベント・観光情報提供を中核とした地域活性化 | ・地域のイベント・観光情報などを、スマホアプリなどを介して多言語でわかりやすく提供することで、訪日観光客の増加や回遊性・滞在時間の向上を図る。 |
| ・訪日外国人観光客に対する情報提供サービス | ・自治体などが保有する観光情報をオープンデータ化し、民間等による再利用を促進して、様々なチャネルでの配信を可能にする。 |
| ・体験型観光 | ・訪日外国人の体験型観光（禅、日本酒醸造、工芸品制作、イチゴ狩りなど）へのニーズの高まりに対応し、体験プログラムの紹介や体験者のコメント、費用、アクセスなどの情報を多言語で発信。 |
| 観光・輸出・投資 | ・ふるさと魅力配信事業 | ・日本の魅力ある地域資源に関する情報などを多言語で海外に発信し、投資を呼びこむ。 |
| 農業 | ・海外消費者へのトレーサビリティ情報の提供による日本の農産物高付加価値化（ブランド化） | ・日本の一等米にトレーサビリティ情報を付加して付加価値を高め、ブランド米としての海外販売を強化する。 |
| ・LOD活用による農畜産業の振興 | ・農地、酪農、養鶏等に関する生産実績や育成条件、気象データなどをRDF化し、生産予測や生産計画立案、農地選定などに活用。 |
| スポーツ | ・ICTスポーツ | ・例えばスキー場でスキーヤーがGPSを携帯することで、ゲレンデ毎の混み具合や友人の居場所、自分の滑走記録などがわかるサービスを提供する。コースの難易度、天候、リフト、レンタル器材、レストラン・ショップなどの情報と組合せることで、自分にあったコースを選択したり、事前に料理を注文したりできる。他にもダイビング、釣り、マラソン、祭りなどのイベントにも応用可能。 |
| 健康・医療 | ・糖尿病予備軍に対する重症化予防 | ・レセプトデータ等を活用して糖尿病予備軍を抽出し、民間の健康増進サービスなどを斡旋。 |
| 交通 | ・高度なリアルタイムナビゲーション | ・公共交通の運行情報や道路占有許可、自動車のプローブ情報などをオープンデータ化し、高度なナビゲーションを提供。 |
| 防災 | ・地域住民へのわかりやすい災害リスク情報提供と避難誘導による減災 | ・地域の災害リスクに関する情報をわかりやすく正しく伝えることで、災害に備えるとともに、災害発生時の避難誘導や、避難所の状況把握、支援物資の的確な提供などを実現。 |
| ・災害時における避難誘導支援 | ・プローブデータなどを活用した道路の通行可否状況、災害情報、気象情報、避難所情報などをオープンデータ化し、適切な避難誘導や支援活動などに活用。 |
| バリアフリー | ・高齢者や身障者向け移動支援 | ・バリアフリー道路マップ、バリアフリー対応施設、多機能トイレなどの情報をオープンデータ化し、高齢者や身障者向けサービスを充実。 |
| 人材 | ・プログラミング教育による人材の育成とイノベーションの促進 | ・基礎学力として、プログラミング教育カリキュラムの導入・充実を図り、「プログラミングができる各分野の専門家」を育てる。 |
| 子ども | ・子ども連れ家族向けサービス | ・託児施設、子どもが遊べる公園・児童館などの情報をオープンデータ化し、子供連れ家族向けサービスを充実。 |
| 社会インフラ | ・公共インフラの異常発生の早期検知・長寿命化 | ・公共インフラの点検・補修情報を一元管理し、点検業務を効率化。センサー、カメラ、SNSなどを活用して、危険の早期検知や長寿命化を実現。 |
| 不動産 | ・オープンデータを活用した複合的空き家対策 | ・空き家や遊休農地などの情報をオープンデータ化し、就農支援などの情報と組合せて提供することで、希望者への斡旋を促進する。 |
| ・不動産取引等の活性化 | ・建築概要書、周辺環境情報、地盤情報などをオープンデータ化し、不動産取引の際の意思決定支援や、地域ビジネス検討などに活用。 |

表　実証テーマ評価指標（案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **指標** | **概要** | **KPIの例** |
| 社会的ニーズ | ・ニーズの大きさ | ・恩恵を受ける人の規模 |
| レガシー実現 | ・社会的課題の解決  ・緊急度 | ・効果の金額換算  ・取り組みが遅れた場合の損失の大きさ |
| 実証の必要性 | ・実証で明らかにすべき課題と解決策（仮説）の明確さ | ・専門家の意見等（定性的評価） |
| 情報発信 | ・ICTショーケースとして情報発信する際の海外メディア等の関心 | ・専門家の意見等（定性的評価） |
| ビジネス性 | ・収益モデルの有無  ・企業の関心 | ・想定される市場及びビジネスの規模  ・企業の意見（社員及び賛助会員） |
| 普及展開 | ・普及展開方策の明確さ | ・専門家の意見等（定性的評価） |

表　評価表の作成イメージ（例）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **実証**  **テーマ** | **社会的**  **ニーズ** | **レガシー**  **実現** | **実証の**  **必要性** | **情報発信** | **ビジネス**  **性** | **普及展開** | **総合評価** |
| **１.○○** | A：解説 | B： | B： | A： | B： | B： | B+ |
| **２.○○** |  |  |  |  |  |  |  |
| **３.○○** |  |  |  |  |  |  |  |
| **４.○○** |  |  |  |  |  |  |  |
| **５.○○** |  |  |  |  |  |  |  |
| **・・・** |  |  |  |  |  |  |  |
| **20.○○** |  |  |  |  |  |  |  |